



世界の大学シリーズ(17) 大連理工大学（中華人民共和国）－大学本部棟－

中国遼東半島に位置し、黄海と渤海に面した臨海都市・大連市にある大連理工大学は、中華人民共和国建国後政府によって創立された最初の工科大学で、10年間の「文化大革命」を含む46年に及ぶ歴史を持つ。1960年代の初めに中国教育委員会に直属の全国重点大学となり、中国社会の変革に伴い繰り返して改革された教育制度に従って、教育、研究および大学自身の成長を遂げた。

1970年代末以降、大連市は中国東北における経済改革開放の窓口として急速に発展したが、この地域環境に恵まれて、今日の大連理工大学は、工学、理学を中心とし、社会科学、人文科学を含む多くの専門分野が設置され、約300名の教授と約900名の助教授を擁し、12,000人（うち大学院生1,400）余りの学生の教育が行われる総合大学となった。

1.34平方キロメートルのキャンパスには、教育、研究棟の他に学生寮、教職員宿舎、食堂、スーパー・マーケット等生活施設も全て揃っている。学生に対しては、一般教育、専門基礎教育および専門教育が厳格に行われると共に種々のスポーツクラブ、文化クラブ等さまざまな学生団体の活動が保証されており、多彩な学生生活の一部となっている。

広島大学工学部と大連理工大学の間には、9年前に学術交流協定が締結された。今年の10月には「国際大学交流セミナー」に大連理工大学訪日学生交流団が招聘されることになっている。今後、両大学の友好が深まり、交流が一層促進されることを願っている。

工学部構造システム講座 黄一（ホアン・イー）



大学全景



### 翔の響 (Forum gallery)

このレリーフは、私たち、学校教育学部美術研究室の学生が制作しました。先頭をとぶ「鳩」は、平和を願う「広島の心」を象徴しています。この鳩に続く47種の鳥たちは各都道府県の県鳥で、全国から広島大学に集う学生の姿を表現しました。翼をはって大空にはばたく鳥たちは、全員が一丸となり未来に向けて飛翔したいという志の現れです。どの鳥がどの県の県鳥なのか探してみてください。

### 石英・カリ長石・斜長石・黒雲母などにより構成されている花こう岩 (表紙)

（顕著な赤色系は撮影時に検板を挿入したことによる）

1829年 W.Nicol が偏光プリズムを発明、それを組み込んだ偏光顕微鏡が開発されて以後、この顕微鏡が鉱物や岩石の成因の解明に果たした役割にははかり知れないものがある。岩石を30ミクロン程度にまで薄くして偏光顕微鏡で観察すると、そこにはカラフルで幻想的な美しい世界が広がっている。偏光顕微鏡は、煩雑な理論を必要とする側面もあるが、眺めていさえすれば、それだけであくことのない楽しさを与えてくれる。

理学部 竹野節夫

